

## I. 東日本大震災に係る要望

### (1) 福島第一原発事故に伴う「風評被害」対策について（継続要望）

#### 【回答】

観光キャンペーンの強化については、観光客の落込み対策として水戸観光協会、茨城県や観光関連の事業者の方と連携を取り、黄門まつりや梅まつりにおいてトップセールスキャンペーンを行うなど、首都圏を中心に積極的に県内外で観光PRを実施しております。

今後は風評払拭のみならず、水戸の魅力を広く知っていただくためにも、新たに制作したマスコットキャラクターの活用を図りながら、観光をはじめとした様々な情報発信を積極的に進めてまいります。

[担当 観光課]

市内の農産物の風評被害対策については、これまで、農業関係団体等と協力して、東京駅や、茨城県の情報発信拠点である東京銀座の「黄門マルシェ」のほか、友部サービスエリアや茨城空港などにおいて、農産物のPRキャンペーン等に取り組むとともに、平成24年度は新たに、東京都や横浜市の中央卸売市場でのPR活動を実施してまいりました。

また、消費者の食に対する不安を払拭するため、市内の農産物の放射性物質検査を実施しており、その検査結果については、市のホームページ等で広く公表しております。

今後とも、茨城県や関係団体と連携しながら、風評被害の払拭に向けた取組を行ってまいります。

[担当 農政課]

### (2) 被災道路の修復について（継続要望）

#### 【回答】

東日本大震災により被害を受けた市内各所の道路の復旧については、これまでも復旧工事を行ってまいりましたが、いまだ時間の経過とともに舗装の沈下が見られる箇所もあり、これらの箇所についても、順次復旧工事を行うなど対応しております。

本町商店街地区のメインストリートである浜田171号線の復旧工事についても、これまで、先行して実施していた水道管の修繕が平成24年10月初めに完了したことから、今後、早期に歩道舗装等の復旧を進め、市民の方々が安全・安心して利用できるよう努めてまいります。

[担当 建設計画課]

## II. 中小企業振興策

### (1) 地元企業への優先発注及び物品調達の変な強化と公共事業の拡大について（継続要望）

#### 【回答】

水戸市が発注する建設工事については、これまで市内に本社を置く地元業者への優先発注に努めてまいりました。今後についても、引き続き地元業者への優先発注に努めてまいりますとともに、物品調達について地元業者で取扱うことができるものは、地元業者から調達するよう引き続き努めてまいります。

[担当 契約課]

### (2) 水戸市プレミアム商品券事業の継続・推進について（継続要望）

#### 【回答】

市内全域における水戸市プレミアム商品券事業については、震災からの復興に向けて、商業の振興及び地域経済の活性化を図るため、水戸市としても平成23年度から支援を行っております。

本事業は、市民の消費環境の向上や地元購買意欲の促進に寄与し、有効なものであると認識していることから、平成25年度以降の継続的な支援については、こうした有効性を踏まえつつ、2か年の事業の効果等の更なる精査を行ったうえで、対応してまいります。

[担当 商工課]

### (3) 制度融資利子補給継続及びマル経融資利子補給の復活について（継続要望）

#### 【回答】

自治金融などの市制度融資の利子補給については、厳しい財政事情ではありますが、中小企業の振興を図るため、引き続き平成25年度も継続してまいりたいと考えております。

マル経融資については、政府系金融機関である日本政策金融公庫が実施しておりますが、水戸市においては厳しい経済情勢に対応した緊急対策として、平成15年に6か年の時限的な措置として利子補給制度を創設し、平成20年度末で廃止した経緯がございます。水戸市においては、ほぼ同様の融資条件で民間金融機関が取り扱

っている自治金融などの融資制度を中心に、融資あっせんや利子補給を行っていることから、厳しい財政事情の中、マル経融資利子補給制度の復活については、困難な状況であると考えておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。

[担当 商工課]

#### (4) 工業に係わる専任部署の新規設置について（新規要望）

##### 【回答】

にぎわいにあふれ、魅力あるまちづくりを推進するためには、御要望のとおりバランスのとれた産業の振興が不可欠であり、既存の工業系事業所への支援の強化、新規事業所や新たな産業形態の立地促進策が求められていることを踏まえ、現状の兼任2名体制から、工業専任部署の設置など強化策の検討は必要と考えておりますが、行財政改革の推進の全庁的な視点もあることから、今後の検討課題とさせていただきます。

[担当 商工課]

### Ⅲ. 中心市街地活性化策

#### (1) 市庁舎の茨城県庁舎跡地への全面建替えについて（継続要望）

##### 【回答】

水戸市が本格的な震災からの復興を図り、今後のまちづくりを進めていくうえで、本庁舎等の整備は重要な課題であります。

水戸市においては、これまで、議会特別委員会の論議とあわせ、災害時の安全性及び機能性をはじめ、経済性及び耐久性、利便性及びアクセス性、都市構造上の拠点性、そして迅速性の五つの視点から、総合的に検討してきました。その結果、本庁舎と消防本部庁舎及び水道部庁舎を一体化し、現在地への建替えを行うことが最も望ましい庁舎整備の方策であるとの考え方を去る平成24年11月の特別委員会へ報告したところ です。

特別委員会においては、庁舎整備は、建替えを進めるべきとの方向で大方の一致を見るとともに、現在地への建替えについて賛同する御意見があった一方で、現在地の地質、地盤等について、先行して地質調査を行い、専門家等の意見を聴取することについて御意見をいただきました。

水戸市としては、現在地の地盤の安全性について、東日本大震災後に実施した損傷度調査の結果において、現在の庁舎は建物基礎部の不同沈下等はなく、地盤に伴う被害がなかったこと、庁舎建設時の地質調査の結果では、支持地盤は、日本建築学会の建築基礎構造設計指針に基づく支持層とすることができる十分な強度を持つ信頼できる安定した地盤であること、駅南地区の民間ビル等において、新しい建築基準で建てられたものに大きな被害が見られなかったことなどから、構造的・技術的に安全性の高い庁舎を現在地に整備することが十分に可能であると、判断をしたものであります。

特別委員会の審議を十分に踏まえ、市民の不安を払拭するためにも、地質調査を実施し、専門家の意見を伺うことに向け作業を進めており、庁舎整備に当たっての安全確保に万全を期してまいります。

御提言の本庁舎等の茨城県庁舎跡地への全面建替えについては、旧県庁舎（三の丸庁舎）は、県において、引き続き分庁舎として活用する意向であるとともに、公園の要素を取り入れた多機能型文化活動拠点の整備の考え方がすでに示されていること、また、当該敷地が風致地区であり、建築用途上の制限があることなどから、実現には大きな困難が伴います。

水戸市においては、中心市街地の人的な活性化によるにぎわいの創出や、周辺住民の利便性の確保が大変重要な課題であります。そのため、平成23年2月に、市長、議長及び特別委員会委員長の三者で知事へ申し入れた旧県庁舎（三の丸庁舎）への市役所機能の一部移転について、震災により協議が中断していたことから、去る平成24年10月に、市長と知事の面談により、協議の再開を約束し、移転する必要な機能や規模について、現在、事務レベルの協議を行っているところであり、早期の実現を目指してまいります。

[担当 政策企画課、管財課]

#### (2) バランスの取れた中心市街地活性化促進について（継続要望）

##### 【回答】

多様な都市機能が集積している中心市街地の活性化については、水戸市の活力を高めるためにも重要課題であると認識しており、拠点づくりとして、大工町1丁目地区の再開発事業を促進するとともに、泉町1丁目北地区の再開発の事業化を支援し、まちの魅力の更なる向上を目指すほか、水戸駅北口についても民間活力の誘導を進め、水戸の玄関口にふさわしい空間の形成に努めてまいります。また、拠点づくりとあわせ、南町・県庁跡地周辺地区における道路景観整備を進めるほか、商店街活動の支援をはじめとする各種ソフト事業等の施

策を総合的に展開し、にぎわいの創出を図ってまいります。

[担当 商工課]

### (3) 泉町1丁目北地区再開発事業の促進について（継続要望）

#### 【回答】

泉町1丁目北地区は、現在、地元地権者で組織した再開発準備組合において、都市計画決定に向け、土地利用計画や導入施設など事業化に向けた課題の整理を進め、事業内容の具体化のための作業を進めております。

水戸市としても、水戸芸術館との相乗効果を生み出せるよう広場機能や景観形成のあり方と導入すべき用途に十分配慮し、この地区の魅力を一層高め、多くの人々が来訪し、交流するまちとしていくための事業計画となるよう、引き続き、準備組合と十分調整してまいります。 [担当 泉町・大工町周辺地区開発事務所]

### (4) 中心市街地における買い物弱者対策事業に対する支援について（継続要望）

#### 【回答】

宅配や移動販売、購入商品の配達サービスなど、事業所や商店街等による高齢者の買い物支援事業については、これまで、民生委員やケアマネジャーなどの高齢者の相談支援に係る関係機関に情報提供を行い、高齢者の生活支援につなげられるよう周知に努めてまいりました。

今後も引き続き、買い物支援事業の取組の把握に努めるとともに、広報みとなどの各種広報媒体を活用し、市民への周知に努めるなど、利便性向上に向けた対応策について検討を進めてまいります。

[担当 高齢福祉課]

### (5) 中心市街地の防犯・安全対策(防犯カメラ設置等)について（継続要望）

#### 【回答】

水戸市においては、犯罪発生の抑止と犯罪からの被害を未然に防止することを目的とする「水戸市安全なまちづくり基本計画」を定めており、市民や防犯団体等の方々に、計画推進に御協力をいただいているところで

す。水戸市中心市街地を管轄します水戸駅北口交番、水戸駅南口交番、大工町交番の平成24年1月から9月末までの刑法犯認知件数の合計は767件（市内全体の22.6%、前年比-113件）となっており、そのうち「ひったくり」や「車上ねらい」、「自転車盗」などの街頭犯罪が239件（市内全体の25.2%、前年比-65件）となっております。

防犯カメラは、設置者によりその役割や対象者、映像の保存期間や情報開示の考え方も様々であり、すでに市の管理する施設内や、商業者においても店舗内などを映し出すものが相当数設置されている状況と思われ

ます。中心市街地への防犯カメラ設置については、犯罪発生を抑止するうえで一定の効果が期待できることから、水戸市においては、平成24年3月に水戸駅南口ペDESTリアンデッキに設置し、さらに、平成24年度内に水戸駅北口ペDESTリアンデッキに設置することとしており、今後、その効果を注視しながら中心市街地などへの設置について検討をしてまいります。

また、水戸警察署に対しパトロールの強化を要望してまいります。地域住民や防犯団体等の安全なまちづくりに対する取組により、防犯意識が高揚し抑止効果がより一層強まるものと考えておりますので、今後とも水戸市防犯対策事業の推進に御協力いただきますようお願いいたします。 [担当 地域安全課]

## IV. 観光振興策

### (1) 大規模複合型コンベンションセンターの建設について（継続要望）

#### 【回答】

大規模複合型コンベンションセンターの整備の必要性については、十分認識しておりますので、新たな施設の建設については、既存の施設の効果的な活用も含め、関係機関と協議してまいります。 [担当 観光課]

### (2) コンベンションビューローへの支援について（継続要望）

#### 【回答】

コンベンションを効果的に誘致するため、水戸市、水戸観光協会及び貴会議所において、機能や組織のあり方について協議してきたところであります。コンベンション機能を強化することにより、観光客誘致についても、相乗効果が期待できると考えられますので、市をはじめとする関係団体間における連携を進めるとともに、

コンベンション誘致に積極的に努めてまいります。

[担当 観光課]

### (3) 黄門ミュージアムの中心市街地への設置について（継続要望）

#### 【回答】

これまでに、ドラマで使用した衣装などの展示や、映像放映について、所有者等との協議を進めてまいりましたが、著作権等の権利や要する経費など解決すべき問題があります。

課題の整理を進めるとともに、水戸黄門さまの名前を将来に伝える取組に努めてまいります。

[担当 観光課]

### (4) 水戸城三階櫓・オープンセット風大手門（「形」の復元）の復元について（継続要望）

#### 【回答】

水戸市では、弘道館・水戸城跡周辺地区の歴史まちづくりを推進するため、水戸市歴史的風致維持向上計画で挙げられた課題・方針に基づき、旧水戸城建造物（大手門、角櫓等）の復元も視野に入れた課題等の調査・研究を進めております。平成24年度は6月と8月に水戸城大手門跡の範囲確認調査を実施した結果、大手門の礎石や三つ葉葵の瓦等が発見され、規模、位置、主軸方位、歴史的変遷等が概ね判明しました。

また、平成24年9月にオープンした「水戸第二中学校・水戸城址二の丸展示館」において、大日本史や編さんに関連する藩士のすずり等水戸第二中学校発掘出土品を多数展示し、水戸の魅力発信に取り組んでおります。

このような成果を踏まえ、今後も引き続き、国や市内での検討を重ね、歴史的風致維持向上計画を改定し、周辺地区の回遊性を高める整備方策の検討を進めてまいります。

[担当 文化課]

### (5) 「桜田門外ノ変」オープンロケセット・記念展示館の継続利用について（継続要望）

#### 【回答】

「桜田門外ノ変」オープンロケセット・記念展示館の継続利用については、平成24年度は映画の撮影、企画展示、プロモーションビデオ撮影、夏まつりイベント等が実施され、平成24年4月から9月末までの半年間における入館者数は、13,321人、1日平均で73人となっております。

継続利用については、運営主体のいばらき映像文化振興協会から平成24年度末までを開設する期間とした確約書が提出されていることから、設置期間の延長は想定しておりませんので、御理解いただきますようお願いいたします。

[担当 観光課]

### (6) 備前堀の観光振興策の推進について（継続要望）

#### 【回答】

備前堀を中心としたエリアは、貴重な歴史的資源が数多く残されており、商店街と歴史的資源との回遊・誘導ルートの整備や、伝統工芸等の復興支援に努めるほか、地域特性を生かした景観づくりを推進してきました。

歴史に包まれ、人が憩うコンセプトのもと、地元の皆様や関係機関と協力し、観光的な視点からにぎわいと交流の創出に努めてまいります。

[担当 観光課]

## V. 環境保全策

### (1) 大塚池周辺水環境の整備について（継続要望）

#### 【回答】

大塚池公園については、定期的な水質検査を実施し、湖沼における環境基準をクリアしており、近年も悪化傾向にはありませんが、さらなる水質の改善を望む市民ニーズがあることは認識しております。

ご提案の渡里幹線用水路からの導水は、かんがい期に優先的に水量を確保することが難しいと考えておりますので、今後、費用対効果が高く、実現可能な方法がないか検討してまいります。

[担当 公園緑地課]

### (2) 成就院池流出口の水質管理について（継続要望）

#### 【回答】

成就院池流出口の水質管理については、保守点検された浄化施設から適切に処理水が放流されているため、水質環境は改善されております。更に平成24年度に流出口付近に都市排水路の整備が予定されており、道路側溝の排水を取り込むことにより、水質の改善が期待できます。

今後も、関係機関と連携して、成就院池周辺の水質環境の向上に努めてまいります。

[担当 道路管理課]

### (3) 千波湖水質浄化の推進について（継続要望）

#### 【回答】

市としては、千波湖導水事業及びジェットストリーマー設置などの水質浄化対策を実施するほか、国・県・市・市民団体が構成する桜川清流ルネッサンスⅡ地域協議会においても千波湖の水質浄化対策を実施・検討しております。

また、千波湖水質浄化推進協会においても、平成24年度は、水戸市との協働のもと、湧水の窒素除去対策として千波湖南岸湧水路のピオトープづくりを実施しているところです。

今後とも、官民一体となってさらなる水質の浄化に努めてまいります。

[担当 公園緑地課]

## VI. その他の振興策

### (1) 災害に強い防災拠点づくりについて（新規要望）

#### 【回答】

本庁舎等の整備に当たっては、市民が利用しやすいことはもとより、防災拠点として市民が将来にわたって、安心・安全に暮らせるまちづくりにつながる施設となることを目指す必要があると考えています。

また、東日本大震災における被災状況や市民1万人アンケートにおいて、本庁舎等の安全性を求める意見が最も多かったことを踏まえ、構造的・技術的に安全性の高い庁舎機能を目指すとともに、災害情報の正確で迅速な収集及び周知など防災機能の充実に向け検討を進めております。

また、御提言の趣旨のとおり、関係部署との連携により、災害時における迅速な対応を行うことが重要であります。

このようなことから、庁舎整備に当たっては、本庁舎と消防本部庁舎及び水道部庁舎の一体化を図るとともに、防災拠点としての核となる災害対策本部室等防災センターとしての機能を新庁舎に設けるとの考え方について、去る平成24年11月に議会特別委員会へ報告し、協議を行っているところです。

今後も、災害に強い防災拠点づくりを目指し、一日も早い庁舎の整備を目指してまいります。

[担当 政策企画課, 管財課]

### (2) 自転車道の整備と自転車を利用した賑わい創出について（新規要望）

#### 【回答】

自転車は、自動車と並ぶ交通手段の1つとして広く普及しており、また、環境負荷を軽減させる効果のある移動手段の1つとしても注目されており、水戸市においても、平成24年3月に策定した「水戸市地球温暖化対策実行計画～みと安心未来へのコツCO2プラン～」の中で、温室効果ガス排出量を削減し、低炭素社会の構築を図るため、自転車利用環境の向上や自転車の利用促進に努めることとしております。

自転車歩行車道については、歩行者と自転車利用者との共存を前提に、限られた道路空間を最大限に有効利用する方策であります。3m以上の幅員が必要なことから、都市計画道路を中心に整備を進めている状況です。

今後は、自転車を分離した環境整備も求められておりますので、物理的な空間確保等の難しい課題がありますが、自転車道のネットワーク化に向けて、整備路線の選定や手法等の検討を進めるとともに、引き続き、都市計画道路を中心とした自転車歩行車道によるネットワーク化に努めてまいります。

いずれにしても、道路の安全を確保するためには、歩行者と自転車利用者、そして自動車利用者がそれぞれ「ゆずり合い」の気持ちを持って道路を利用する必要があることから、茨城県警や国、茨城県などと協力して意識醸成に努めてまいります。

[担当 建設計画課]

水戸市のにぎわい創出のための自転車による観光地を周遊できるようなコースの作成については、これまで、千波湖西側と水戸駅南口にレンタサイクル貸出所を設置し、相互乗り入れ、乗り捨てを可能とした運用を行い、自転車による周遊型観光の推進を図っております。また、更なる事業推進を図るため、水戸駅北口におけるレンタサイクル貸出所の設置についても、調査・検討を行っております。

新たなコースの作成並びにサイクリング大会の開催については、安全面や運営体制などの課題がありますので、自転車道の整備の進捗に注視しながら、研究、検討してまいります。

[担当 観光課]

### (3) ケーズデンキスタジアムへのアクセス道路拡張と駐車場整備について（再要望）

#### 【回答】

道路の拡張については、日常的に交通量が多い路線で、歩行者等の安全確保を図るために、車線幅や

歩道設置を実施しているものです。

ご要望のありました国道50号バイパスから茨城町境までの幹線市道15号線 笠原・萱場線については、両側に歩道のある対面通行の道路として、また水戸市植物公園から幹線市道15号線交点までの幹線市道19号線見川・丹下線については、片側に歩道のある対面通行の道路として既に整備しており、大型車両もすれ違いが可能な車線幅と、歩車分離による歩行者等の安全対策も図られていることから、現在、当該道路の拡幅予定はございません。

J2のイベントの開催により発生する渋滞対策については、適切なアクセスルートの設定と誘導方策、あるいは公共交通機関の利用推進が有効と考えられますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

[担当 建設計画課]

スタジアム周辺の駐車場整備については、平成24年2月に、収容可能台数約1,000台の砂利駐車場を整備し、現在、スタジアム周辺駐車場全体では、約2,000台の駐車が可能となっております。

今後も、Jリーグ開催時の車両の導線及び状況を検証しながら、来場者の皆様に御不便がないよう各関係機関と協議・検討してまいります。

[担当 スポーツ課]

#### (4) 公共下水道の普及促進について（継続要望）

##### 【回答】

水戸市の公共下水道の整備状況については、全体計画区域面積は8,598haで、国の事業認可を取得した面積は5,496haです。市街化区域の整備が概ね完了し、平成23年度末における整備面積は4,195ha、普及率はほぼ全国平均の74.6%となっております。

今後は、調整区域の整備が主体となることから、面的な整備から個別的な整備に移行してまいります。このため、整備の進捗状況を勘案し、地域の特性を踏まえたうえで、効率的な整備の推進に努めてまいります。

[担当 下水道管理課]

### VII. 関係機関へ働きかけをお願いする事項

#### (1) 新川の本格的改修並びに下市地区全般の排水整備について（継続要望）

##### 【回答】

新川の改修については、市民の安全で快適な生活環境をつくるため、早期の改修整備についてこれまでも茨城県に対し要望しております。

このような中で、短期間で効果を発現させるとともに、既存ストックを最大限に活用していくため、これまでも河道内の土砂撤去や崩落した護岸の改修を実施し、さらに、東日本大震災により被害を受けた箇所についても、復旧が終了したところと伺っております。

また、台風やゲリラ豪雨等により発生する浸水被害を最小限にとどめるため、ゴミや土砂の撤去など既存ストックを十分に活用した施策を講じるとともに、引き続き、茨城県に対し、改修整備について強く要望してまいります。

[担当 建設計画課, 下水道管理課]

#### (2) 県道下入野水戸線の道路拡幅について（継続要望）

##### 【回答】

都市計画道路3・3・2号中大野中河内線は、水戸市における重要路線の1つである水戸・勝田環状道路ですが、主要地方道水戸神栖線（旧国道6号）から国道6号までの県道下入野水戸線の区間については、茨城県が整備することとなっております。

このうち、すでに、都市計画道路3・3・16号梅香下千波線から元吉田東交差点の区間が完了し、現在、元吉田東交差点から国道6号までの延長905m区間を酒門工区として、茨城県が平成23年3月に事業認可を取得し事業に着手しております。

これまでに、測量や設計作業が終了し、まもなく用地買収に入る予定であり、引き続き、重点的に整備を進めていくと伺っております。

市としても、酒門六差路周辺の交通の円滑化や渋滞解消を図るためにも当該区間の整備が重要であると認識しておりますので、引き続き、早期整備が図られるよう茨城県に対し、強く働きかけてまいります。

[担当 建設計画課]